

海田町 通学路交通安全プログラム

～通学路の安全確保に関する取組～

平成 26 年 6 月

海田町

海田町教育委員会

1 プログラムの目的

通学路の安全確保に向けた取組を推進していくため、このたび、「海田町 通学路交通安全プログラム」を策定した。

今後は本プログラムに基づき、関係機関と連携し、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図る。

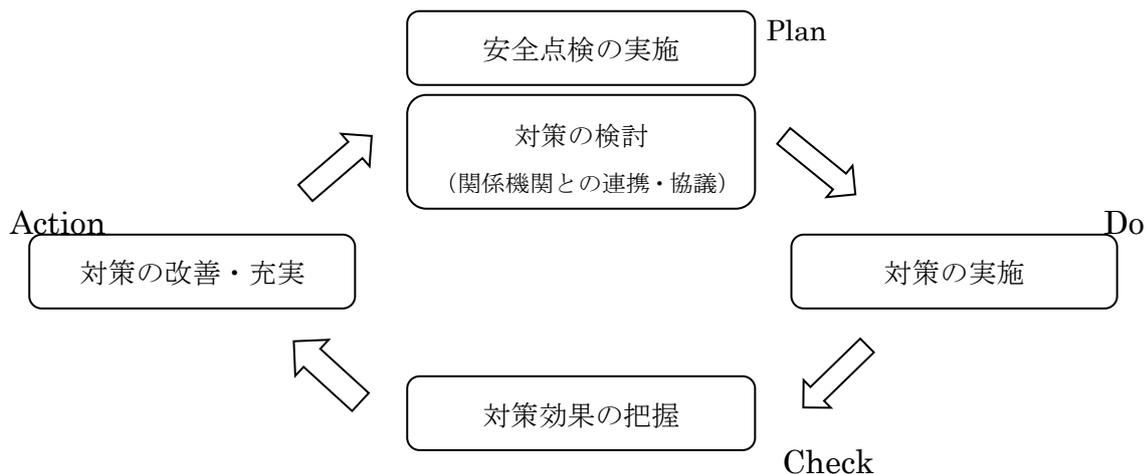
2 取組方針

(1) 基本的な考え方

継続的に通学路の安全を確保するため、定期的に安全点検を実施するとともに、対策実施後の効果把握も行い、対策の改善・充実を図る。

これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図る。

[通学路安全確保のためのPDCAサイクル]



(2) 安全点検の実施

○ 安全点検の実施時期等

- ・ 集団下校時等に、教員が担当地区の通学路の点検を行う（時期は問わない）。
- ・ 地域住民，学校安全ボランティアから，通学路についての気付き等を随時集める。
- ・ 児童生徒から，通学路上で気になることや危険だと感じる箇所等を聴取する。

(3) 対策の検討

安全点検の結果から明らかになった対策必要箇所について、箇所ごとに歩道整備等のハード対策，または交通安全教育のようなソフト対策など，対策必要箇所に応じた具体的な

対策メニューを検討する。

(4) 対策の実施

対策の実施に当たっては、対策が円滑に進むよう、関係者間で連携を図る。

(5) 対策効果の把握

安全点検結果に基づく対策必要箇所において、対策実施後に実際に期待した効果が上がっているのか、また児童生徒が安全になったと感じているのか等を確認するため、

① 地域住民，児童生徒へのアンケートの実施

② 車両と歩行者の離隔を測定

など、対策実施後の効果を把握するための手法を検討し、対策効果の把握を実施する。

(6) 対策の改善・充実

対策実施後も、安全点検や効果把握の結果を踏まえて、対策内容の改善・充実を図る。

3 箇所一覧表・箇所図の作成

小学校ごとの点検結果や対策内容については、関係者・関係機関で認識を共有するために「対策箇所一覧表」及び「対策箇所図」を作成する。

【別添資料】

- ・対策箇所一覧表

別添

対策箇所一覧表

平成〇〇年〇〇月〇〇日 時点

【〇〇〇小学校】

番号	箇所名・住所	状況等	対策内容	担当部署	対策年度
1	海田町寺迫〇丁目〇番	自転車と通学する児童が錯綜し，危険	歩道と車道の明確化	海田町 (〇〇課)	H26
2	海田町幸町〇番	見通しの良い道路のため，自動車が速度を上げて走行している	・注意喚起の標識，看板等設置 ・学校安全ボランティアの配置	警察 海田町 (〇〇課)	
3	海田町昭和町〇番	地下道の照明が暗い	防犯対策	海田町 (〇〇課)	
4	海田町南つくも町〇番	踏切内の歩行空間が狭く，歩行者通行が危険	踏切の拡幅	海田町 (〇〇課)	H27
5					
6					